

## 優れた掘削技術を継承し、発展させる

掘削技術専門学校の開校式・入学式が4月11日、社会福祉センターで開かれました。関係者約80人が出席し、地熱発電などの掘削技術者を育成する国内初の専門学校開校と1期生の入学を祝いました。掘削技術専門学校は、不足する掘削技術者の育成を目的に、ジオパワー学園の沼田昭二理事長が設立。2022年1月から1期生を募集し、4人が入学となりました。開校式では、沼田理事長が「国内には優れた掘削技術があります。その技術者の平均年齢は60歳から70歳になっています。若い人に優れた技術を継承し、発展させることが重要な責務」と思いを語り、「本校は、必ずや将来のエネルギー自給をはじめとするいくつかの課題解決に役立つものと強く思っています。皆さまのお力添えをお願いします」と式辞を述べました。

来賓の棚野孝夫町長は「CO<sub>2</sub>をほとんど排出しない地熱発電は、地球温暖化対策に多大なる貢献をもたらす。今後も再生可能エネルギー

## 掘削技術専門学校開校式・入学式

### 地熱発電などの掘削技術者を育成 関係者80人が1期生の入学祝い

ギーの導入を積極的に推進していきたい」と、その重要性和必要性を強調し「1期生の皆さんは、時代の先端を行く学校に誇りを持ち、新しい伝統を築いてほしい」と祝辞を述べました。

入学式では、井上政史校長が漢詩の一文を引き合いに出し、「一日二千里の道を駆け抜けられる馬はたくさんいるが、それを見抜くことができる伯樂に出会えなければ、ただの馬で一生を終えてしまう」と述べ、「本校はベテランの技術者や専門家が集まった伯樂の集団。生徒一人一人が掘削技術の道を駆ける千里の馬となることを目指して励んでください」と激励しました。

最後に、新入生を代表し、大野拓巳さん(23)が「将来の日本のエネルギー資源開発において、社会に貢献できる人材となれるように頑張ります」と決意を述べました。



1 開校式で式辞を述べる沼田理事長。 2 入学式で式辞を述べる井上校長。 3 新入生を代表し、大野さんが決意を述べました。 4 1期生の4人。左から高村丞さん、平田悠真さん、小幡銀我さん、大野拓巳さん。

5 開校式・入学式には約80人の関係者が参加しました。 6 入学式は新入生4人の入場で幕開け。盛大な拍手で迎えられました。



地熱発電などの掘削技術者を養成する国内初の専門学校「掘削技術専門学校」が白糠町で4月11日に開校しました。実習棟や学生寮、食堂も完備されています。